ALL NTT WORKERS UNION OF JAPAN

NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会 通信

2017年7月1日　第74号
NTT労働組合退職者の会　高知県支部協議会
会　長　　國　弘　　昭

〒780-0841　高知市帯屋町2－5－11
TEL 088-821-3800　FAX 088-873-3313
URL http://nttobkochi.sakura.ne.jp/
E-mail　taisyoku-kochi@air.ocn.ne.jp

五十周年を機に 電通共済がさらに充実!!

五月三十日(火)～三十一日(水)、全電通ホールで開催された「拡大支部協代表者会議」の概要を報告します。

会議は先に亡くなられた岩河前会長に黙祷を捧げて開会。

先ず、NTT労組中央本部平田事務局長より「NTT労組の現状と中期運動方針」について説明を受けました。それによると①組織人員の減少、有期雇用・六十歳超社員が1／4を占める組織構成の変化等により組合費収入の減少が大きな問題となっている。この課題に全力を尽くしたい②NTTグループ事業の現状は順調だが、NTTは競争激化を踏まえ持続的成長に向けたサービス事業者への転換を目指している③我々としても、IoT／ビッグデータ・AI時代（IoT：Internet of Things（モノのインターネット）、従来は主にパソコンやサーバー、プリンタ等のIT関連機器が接続されていたインターネットにそれ以外の様々なモノを接続すること。ビッグデータ：市販されているデータベース管理ツールや従来のデータ処理アプリケーションで処理することが困難なほど巨大で複雑なデータ集合の集積物を表す。AI：artificial intelligence 人工知能）を展望した対応が重要と認識し④人材育成等々について経営協議会等での対応強化を図る⑤同時に処遇改善も求めてゆく…とのことであり退職者の会も「現・退一致」で必要な協力をすることを確認しました。

次に、電通共済等の加入促進について、発足五十周年を機に、生命共済の掛金改定やMyセーフティへの親介護特約導入等々の組合員の利便向上のため数点にわたって充実・強化を図っているので促進材料としての活用と周知・徹底の取組を確認。また五十周年記念「クイズ応募型プレゼント」の実施についても確認し、これを機に一層の発展を目指して取組の強化を図ることを誓い合いました。

翌日は、中央協川辺事務局長より①今年度前半の取組概要②ブロック会議を踏まえた全国総会へ向けての課題…について報告・提案。全体で確認し会議を終えました。

〈弘田和幸〉

退職者の声を大きく

全国交流集会に参加して

五月十日(水)～十二日(金)、静岡県伊東（ホテル聚楽）の全国交流集会へ高知から北岡、野々下の二人が参加した（各支部合計百二十四人）。

初日は、会長挨拶のあと、特別講演、お笑い健康体操、（創作落語）三遊亭白鳥（白鳥だけど色は白くない）、政治学習会（吉川さおり）「直近の国会情勢と社会保障政策」、退職者の会の歩みと課題、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本大震災支援活動とスケジュールが目白押し。

交流会が始まったが六時半、疲れからか三七度四分の熱が出た。

二日目、NTT労働組合中央本部（相馬副中央執行委員長）の挨拶、特別講和「NTT労組の現状と課題」が提起された。向こう二年間、衆議院選挙（二〇一八年十二月）までに解散が予想されるため、組織内たじま要、準組織内山井和則、参議院選挙（二〇一九年七月）に組織内吉川さおり（全国比例）で戦いたい。しめくくりとして、現・退一致の運動を推進し、社会的役割を発揮し社会的に価値ある労働運動に向けさらなる連携が必要であることを強調した。

現・退と言うが人数は退・現となっている。退職者の声をもっと積極的に取り上げるべきではないかと小言をいいたくなったが……。

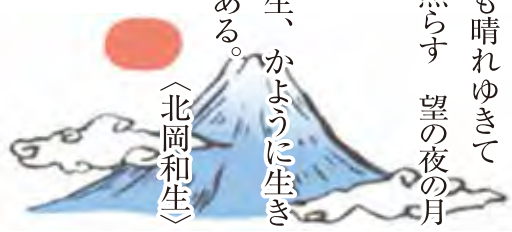
会員と会のコミュニケーションの充実については、役員体制、支部協の常駐体制、総会、機関紙、各種イベントと参加状況、支部の財政課題、危機管理マニュアル等について、各班で議論沸騰した。

私はというと、二日目の昼から体温が三七度八分となりダウン。部屋で常備薬をのんで静養し、夜の懇親会は出席できなかった。

最終日、朝食後解散となった。

平和で健康な社会を実現するためには、団結して活動する大切さを改めて感じた集会だった。

吹く風に
　高嶺の雲も晴れゆきて
　涼しく照らす　望の夜の月
残りの人生、かように生きたいものである。



〈北岡和生〉

喜怒哀楽　第32回　天に眼（てんにまなこ）

これは「天に、目があり、人間のすることはみなお見通しで、善悪一切見逃すことはない」の意ですが、最近の社会情勢を見ていると、子供達にどのように説明すればいいのか解らない問題が沢山発生している。

特に人間の模範となるべき政治家の言動が余りにも軽率であると感じる。“言葉”は、あらゆる面で重要な役割をはたすもので、それだけに、使い方も難しい。他人を喜ばせるのも、悲しませるのも“言葉”であるから、一つ一つの語を口から出すときは、正しい的確な“言葉”を発していただきたい。

全ての結果は“言葉”を発した自分に原因があることが解っていない。口の慣用句は「口が重い」に始まって「口を割る」の20言があるが、その他に口に関係する“言葉”は無数にある。

「口の虎は身を食む」について、更迭された○○大臣は理解されたかな。ついでに「沈黙は金」も身にしみた事であろう。

昔から「口は禍の元」とあるように、一度出た“言葉”は取り消す事は出来ない、又、他人の口には蓋ができないように、聞いた他人が心温まる言葉を習慣づけること、……ムリかな。

でも公人はこれだけは守って欲しい。「口を閉じて眼を開け」!!　　〈副会長　上田　章夫〉

地域だより

宿毛・大月地区

今年度も仲良く元気に

三月三十日（木）十時より宿毛・大月地区OB会が開催され、二十人の会員が参加しました。

総会は川田副会長に司会兼議長をお願いし、森会長から「OB会も三十四人になり、歳をとって無理もできないので、この総会で計画も大胆に見直して。同じ釜の飯を食った仲間として仲良く元気に」と挨拶。

来賓として朝早くから来ていただいた退職者の会の國弘会長と、現役のNTT高知県グループ連絡協議会の森下事務局長からご挨拶とお祝い金をいただきました。

議事に入り、二〇一六年度の行事を各担当がユーモアたっぷりに説明、会計報告、会計監査報告、二〇一七年度の計画、予算案も丁寧な説明があり、予定時間を若干オーバーしたものの両方とも異議は無く承認されました。

総会が終わると送迎バスで、黒川の桜並木に。咲いてないのでバスを降りずにスワロー会館へ。『さくらの宴』の始まりです。國弘会長の乾杯の音頭で始まり、しばらくはお酒と食事とおしゃべりと。

「ラーメン」と勢いよく撒いて、拾い手の興奮が収まったところで、お店の方に記念撮影をしてもらい、最後は、これまた恒例の『星影のワルツ』を全員で踊ってお開きになりました。ご苦労様でした。

〈上村　正臣〉

高知西地区

今社会と似たドタバタ劇

四月二日（日）十二時より、高知西地区OB会を開催した。

今年は高知県の桜の開花が例年より遅れ、開催日当日でも三分～四分咲きと言ったところ。場所は、高知市針木浄水場・桜の段。毎年、土曜日に計画していたが、花の咲き具合や行事日程の都合で日曜日に変更した。直前になって欠席が相次ぎ、会員・現職合わせて八人程となり、少し残念ではあったが開宴した。

ところが、準備に汗をかくほどの昼前の晴天は一時間ほどして急変。雨は降り出すは、気温は下がるはと、花見を切り上げざるを得なくなった。仕方なく屋根付きの場所を確保し再開する羽目になってしまった。「なんとなく今日の社会情勢に似ちゅう」との恨み節も出たが、それなりに親睦は図れたと思う。

最後に、今の国会情勢では何時総選挙があるかもしれないので、現・退一致で取り組みを強めることを約束して散会した。

〈國弘　昭〉

高知北地区

満開の桜を窓越しに

四月八日（土）十一時より、高知北地区OB会が開催された。

場所は湯の川温泉。雨を心配することはなく、満開の桜を窓越しに見ながらゆったりと時を過ごす花見となった。

今年は十二人の参加があり、世話役の西川さんより開会の挨拶、退職者の会國弘会長、NTT労組高知分会森下副分会長ならびに近藤市議より挨拶の後、一年ぶりの再会で話に花が咲きました。いつもの年より参加者が少なく、西川世話役から『来年は声を掛け合って、もっと多くのひとに参加してもらいたい』との要請があった。開催場所も旭浄水場であったり、鏡ダム公園であったりしたが、『ここなら雨の心配もなく送迎もあるので、便利ではないか』との意見が出され、来年以降検討する事にした。

〈國弘　昭〉

安芸地区

安芸城跡で歴史にふれて

総会に初めて雨が降りました。四月八日（土）、去年と同じ安芸城跡内・五藤邸で、十六人の会員が出席して、開催されました。

会議に先立ち、小松八代さん、小松タツミさん、岡村朗子さんなどお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。

来賓として、NTT労組退職者の会三宮正博事務局次長、高知電友会氏原功副会長、NTT労組高知県グループ連絡会の小野川公作会長、山岡千佳事務局次長、高退連安芸地域協議会から丸田良事務局長、民進党高知県連第一区総支部長の大石宗氏をお迎えしてご挨拶と沢山のお志を頂戴いたしたことをここにご報告いたします。

大石氏は、昨年に続き二回目のご出席となり、総会、特別講座、懇親会とご一緒していただきました。

新会員として桑原和尊さん、そして久しぶりに間嶋祐一さんも顔を出してくださいました。

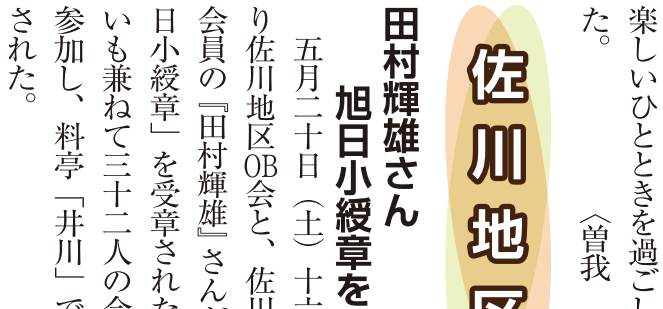
宗我部副会長が欠席のため、今年度は、寺本和男さんが、議長を務めて下さいました。

執行部の提出の議案すべてが原案どおり承認され新たな年度を迎えました。改選年度ではありませんでしたので、役員全て留任です。今年度もよろしくお願い致します。

特別講座の代りとして、安芸城や安芸市などの資料を用意して事務局がお話しをさせて頂きました。

会議終了後はおまちかねの懇親会です。代り映えがしない何時ももの料理ですが、忘年会以来の顔合わせと、沢山のご来賓の皆様でわいわいがやがやと賑やかに楽しく談笑。積る話や昔懐かしい話などで楽しいひとときを過ごしました。

〈曽我　純司〉



佐川地区

田村輝雄さん　旭日小綬章を受章

五月二十日（土）十六時より佐川地区OB会と、佐川地区会員の『田村輝雄』さんが「旭日小綬章」を受章されたお祝いも兼ねて三十二人の会員が参加し、料亭「井川」で開催された。

世話役の田中さんの司会で、現役を代表してNTT労組高知分会小野川分会長・NTT労組退職者の会國弘会長・高知電友会井上会長より挨拶があり、最後に田村さんより、『今回の受賞は長年に亘りさくら福祉事業所などの活動に対するご褒美と感謝しています。これまで私を支えご支援いただいた皆様のお蔭と、あらためて感謝申し上げます。今年春の園遊会にも招待され、天皇陛下をまじかに見ることが出来ました。今後も福祉事業に関わり、活動を続けていく所存ですので、今後ともものご支援をお願いします。』との挨拶があった。

市川秀幸さんの乾杯の音頭で開宴となり、一気に空白の時間を超越し、あの時はこうやった、このときはあーやった等々久しぶりの再会に思い出話が膨らんだ。

〈國弘　昭〉

今だから話そう スト深夜のサプライズ

田中　一郎（佐川町）

私が入社した電電公社は、公共企業体等労働法で、ストライキは禁止されていた。職場集会が、勤務時間に一〇分食い込めばストライキと見做され、懲戒処分の対象になった。

その頃私は血気盛んな、二〇代。的確な指導力と行動力、人間的魅力を兼ね備えた故「山本準一」支部委員長（高知市教育長もされていた）を崇拝し、組合活動に足を踏み込んだ。

須崎電報電話局分会長に信任された翌年、スト一票投票が高批准であったためか、須崎がスト拠点に指名された。スト前日には、県支部、地方本部それに各地から応援部隊が続々と集まり、公社側にもスキャップ部隊が須崎に駆け付けた。

分会の役員は、組合員の説得と確認作業に大わらわであった。当局のスト中止勧告を撥ね除け、始業時間前から閉ざされた門の外で職場集会を開催。宿直勤務を終えた電話交換手や機械課員も集会に加わり局舎内に組合員は一人も居なくなった。午前八時三〇分ストライキに突入した。その日、交渉の進展はなかったのか連絡もなく、午後五時、出勤して来た宿直勤務者に自宅待機指示を出した。

翌朝八時前スト解除指令が入った。二十四時間ストライキを敢行した瞬間であった。

今だから話せる出来事をひとつ紹介したい。ストライキ突入中の深夜に「葉山村（現津野町）で家屋火災が発生、市外ケーブルも延焼の恐れがある」と、敵方の総大将である局長自らが分会に協力を要請してきた。

我々も市外ケーブルの損傷で東津野、椿原、四万川方面全ての交換所が孤立すると、社会的にも大変な事態になることは十分予想できた。

しかし今は、時間外労働拒否中しかもスト突入中の深夜である。スト脱落者が出れば全国に汚点をさらすことになる。組合上部に相談すると、「当該分会長に全権を任す」との回答。急遽執行委員会を開き、分会執行部を中心に線路・機械・中継所等で派遣班を組織し現場へ出動するという苦渋の決断を下した。

幸い市外ケーブルは、内部への類焼を免れた。市内ケーブルと引き込み線の応急復旧は、公社側から通建会社へ依頼することになった。派遣組合員を全員帰しストに合流させた。

全電通は『スト権スト』も戦った。その後、公社は民営化され、ストライキ権は確立され、NTT労組として今を迎えている。

先日のNTT労組新聞に、「二〇一七春季生活闘争」妥結収拾、主要8社等から最終回答を引き出すとの記事が載っていた。不況下良い結果で安心した。

伝家の宝刀（スト権）を許されなかった時代に『違法なストライキ』を全国の先頭に立って、全電通の最初で最後の二四時間ストを敢行し、春闘に勝利した須崎電報電話局分会の仲間が居た事を若いNTT労組の皆さんに知ってもらい、後世まで語り継いで欲しい想いで筆を走らせた。

我が人生楽しく

一柳久寿猪（高知市）

私は去年十一月から二ヶ所の通院をしました。その一つは眼科で、白内障の治療です。年相応の進行で、急ぐ程でもなかったのですが、手術や通院には、主人の協力無しでは大変困ります。余裕のある今の内にと、両眼の手術を受けました。術後は大変良好で二週間毎に通院しております。身の周りがきれいに目に映り、顔のシワも一段とよく見えます。通院は今も続いております。

もう一つは、C型肝炎です。輸血が原因です。今迄に特別な症状はありませんでしたが、この病気とは三十五年位のお付き合いです。自宅近くの病院へ二十数年通院治療しておりましたが、良薬があるとの事で専門医院を紹介して頂き、高額治療制度の書類を提出しました。驚くほど高価な薬を三ケ月飲んで、二月で薬治療は、終りました。

二週間毎の採血検査は良好で、「ウィルスは完全に消えました」との報告を受けました。今は一ヶ月毎の採血と、三ケ月毎のエコー検査があり通院をしております。

今は医療の世界も研究を重ねて、諸々の分野で素晴らしい薬が開発されています。

私は元気な身体で、毎日をすごしたい、それが一番の願いです。色々な趣味にときを過ごす幸せを、うれしく思います。

ウィッテイー

誌面で伝えるあんなコト、こんなコト…

「苦労も笑い話に」

月初めの月曜日、『丸吉会』に参加する。機械部門にいた退職者の飲み会で、会場の食堂を交流会の名にとった。新参からベテランまで、一堂に会して酒を酌み交わす。昔の苦労も笑い話にしてしまう楽しい場でもある。ただ二次会に付き合ってくれる先輩が少なくなったのがちょっと寂しい。　〈石川昌男〉

「そんなお年頃？」

行けるかな。信号のない横断歩道。向こうから来る車を見ながら、一瞬立ち止まる。この頃は相手が待ってくれることが、多くなったようだ。

軽く会釈し、足早に渡る。ありがたいと思う反面、私もそれなりの人相風体に見えているのだろうか……チョット複雑。　〈中島美紀子〉

「退職して十八年“今は”」

退職して早十八年。健康が第一と先祖から引き継いだ農地で、春はキャベツ、秋は大根と人参、春ジャガ芋・秋ジャガ芋、ポンカンと健康のための農業。少し作付面積が多く、しんどいなと思いながら、野菜の成長を見守る毎日です。

趣味はアマチュア無線。初めてのアマチュア無線局との交信でも、親しい友人と話している感じになります。アマチュア無線…不思議なものです。　〈藤戸勇輔〉

会員投稿欄

共済等支払状況

ありがとう制度（2017年3月～5月）

お祝い

☆米寿（2件）
3月：元藤　好数様
4月：北川　了英様

☆喜寿（12件）
3月：久武　成美様
浜崎三枝子様
山崎　毬子様
寺内　峯子様
浜田　祐子様
山崎なほ子様
4月：田村芙紗子様
森　千鶴子様
永吉　喜子様
5月：山本　博章様
山崎　立子様
井上　留美様

☆古希（13件）
3月：氏原　功様
竹村　哲夫様
野口　桂子様
松本　準一様
右城　松子様
大野　弘様
前田　教重様
森沢　義宏様
竹内　富弘様
那須　文雄様
荒木　敏夫様
小松　昇様
神崎　正和様

支部協慶弔制度（2017年3月～5月）

お祝い

☆金婚（12件）
3月：山本　典子様
秦泉寺昭雄様
田村　信子様
徳橋　寿彦様
徳橋　容子様
岡林　正子様
竹崎　顕様
福井　一広様
真辺　規夫様
横山　和様
5月：田上　実様
松本　和明様

お悔み

★本人死亡（9件）
2月：西崎　朝子様
3月：光内トシ子様
元藤　好数様
4月：岡崎　信様
5月：竹山　律様
山下久美子様
中山　通様
橋田　功夫様
小野　義光様

★配偶者死亡（2件）
4月：田村　笑様
5月：橋田佐世子様

◇交通災害共済（1件）
3月：51,200円

◇火災共済（0件）
0円

◇生命共済（0件）
0円

おねがい
死亡時に事務局へ
ご一報をお願いします
☎821-3800

NTT高知OB親睦旅行のご案内

参加者募集はじめました

「世界文化遺産」富士山の絶景めぐりと箱根・鎌倉・横浜のゆったり旅 3日間

今回の旅は世界文化遺産の富士山がメイン、先ずは白糸の滝とそこからの富士の観賞。次に富士を眺めつつ朝霧高原・本栖湖・精進湖を経て青木ヶ原へ！「富岳風穴」驚きの風景を楽しんで下さい。初日の宿は河口湖温泉。ゆっくりと温泉に入った後は恒例の夕食・宴会を楽しんで下さい!!

翌日は、富士山五合目（2,305ｍ）を散策後、富士山信仰のルーツ富士浅間神社を参拝します。その後、「忍野八海」へ！富士山の湧水に目を洗われた後は山中湖へ「甲州名物ほうとうの昼食」に舌鼓。午後は三島スカイガーデンの花々に囲まれ富士を臨み、芦ノ湖畔を経て大涌谷へ!! 噴煙上げる箱根のシンボルを堪能した後は箱根湯本温泉に！

最終日は、いざ鎌倉！「鎌倉の大仏さん」「鶴岡八幡宮」を観光した後、横浜中華街へ！名店で中華の昼食をいただきます。昼食後は横浜マリンタワーや山下公園近辺を自由散策と、見どころ満点の３日間となっております。ぜひご参加ください。

旅行日

2017年 10月31日(火)～11月2日(木)の2泊3日

- **出発予定時刻**　龍馬空港発　10時00分（JAL 492便）⇒⇒ 羽田空港着 11時15分
- **帰着予定時刻**　羽田空港発　18時55分（JAL 499便）⇒⇒ 龍馬空港着 20時20分

旅　費

77,000円【7食・1日目及び2日目夜のホテルでの宴会費を含む】

- 宿泊ホテル部屋追加料金（料金は2泊分込です）
  - ・1人部屋 ⇒43,200円/1人　　・2人部屋 ⇒ 15,000円/1人
- 会員以外の方のご参加は、事務雑費、飲食費等の諸費用として一人当たり1,000円をご負担願います。
- 空港までの交通費、駐車場代等は自己解決をお願いいたします。
- 遠隔地参加者割引（会員限定）⇒ 芸西村以東、須崎市以西、県外在住者は1,000円割引。

募集人員

先着40名で締め切ります。（お早めにお申し込みください）

申し込み締め切り日　7月31日(月)

その他

- 参加の際は、健康保険証、高齢受給者証および長寿手帳をご持参ください。
- 出発間近のキャンセルはキャンセル費用がかかりますので体調管理に努めてください。

	行程
10月31日（火）	出発 高知空港（JAL 492）⇒⇒⇒ 羽田空港 10:00発 / 11:15着 11:45発 ==== 首都高・新東名 ==== 新富士IC ==== 白糸の滝『岩壁の間から白い絹糸のように流れる滝を観賞』 14:20着 15:00発 === 朝霧高原 ======== 本栖湖（車窓） ======= 精進湖（車窓） ======= 富岳風穴『青木ヶ原樹海の豊かな緑に囲まれた洞窟』 15:30着 16:00発 ======= 河口湖温泉（泊） 16:30頃着　**（宿泊）富士レークホテル TEL：0555-72-2209**
11月1日（水）	ホテル ==== 富士スバルライン ==== 富士山五合目『標高2,305mの散策』 8:30発 / 9:10着 9:40発 ==== 北口本宮 富士浅間神社『富士山信仰のルーツを参拝』 10:20着 10:50発 ==== 忍野八海『富士山の湧水が美しい名水の里』 11:00着 11:40発 ==== 山中湖（昼食）『甲州名物ほうとうの昼食』 11:50着 12:40発 ==== 三島スカイガーデン（スカイウォーク）『富士山を望む日本最長400m吊り橋と花咲くガーデン』 13:40着（※三島スカイウォークを渡るには別途1,000円必要です。） 14:40発 ==== 芦ノ湖畔・箱根関所跡（車窓） ==== 大涌谷『噴煙をあげる箱根のシンボル』 15:10着 16:00発 ==== 箱根湯本温泉（泊） 16:30頃着　**（宿泊）ホテルおかだ TEL：0460-85-6000**
11月2日（木）	ホテル ======= 西湘バイパス ======= 高徳院・鎌倉大仏『鎌倉のシンボル、長谷の大仏様で有名』 8:30発 / 10:00着 10:30発 ========== 鶴岡八幡宮『日本三大八幡宮・鎌倉幕府ゆかりの地』 11:00着 11:50発 ========== 横浜中華街（昼食）『中華街の名店にてご昼食』 12:50着 14:00発 ========== 横浜マリンタワー・山下公園『山下公園周辺自由散策』 14:10着 15:30発 ※マリンタワー展望台は別途入場料750円必要です。 ====== 羽田空港（JAL499）⇒⇒⇒⇒ 高知空港 16:30着 18:55発 20:20着　※到着後、解散

●記入例　バス ===　航空機 ⇒⇒⇒

【お願い】　この行程は運輸機関のダイヤ改正及び各地の道路事情により、時間が変更になる場合もございます。あらかじめご了承下さい。
バス運行中は座席にお座りの上、シートベルト着用のご協力をお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

申し込み時に、ホテルの部屋等をお申し出ください。

◆ **NTT労組退職者の会**（月曜～金曜の午後1時～4時）
TEL　088－821－3800 ／ FAX 088－873－3313 ／ e-mail　taisyoku-kochi@air.ocn.ne.jp

◆ **高知電友会事務局**（月曜～金曜の午後1時～4時）
TEL　088－804－0566 ／ FAX 088－885－2080 ／ e-mail　denyukai2@royal.ocn.ne.jp